

ダンスファン座談会 サークル運営の喜びと 悩みについて語り合う

ダンス人口一千万。支える中心はサークル活動の皆さんだ。そのサークル運営の難しさ悩み、そして喜びについてサークル活動の中心にいる方々にご出席いただいて語っていただきました。(構成/野口信一・写真/井出浩典)



パートナーの独占 問題で頭を悩ます

本誌 本日は師走のお忙しいなか、皆さんにご出席いただきましてありがとうございます。ダンス人口は一〇〇〇万人ともいわれています。まあ、それは過大に言われている数字といたしましても、今後、更に増えてゆく勢いです。野放しのなかにあつてサークルの数も、ダンス人口も更にふえつづけていくであろうことを考えますと、社交ダンスの根本にあるエチケットやマナー、思いやり、正しいレッスンのあり方、会員相互の和が大切なことはいまでもありません。

これらをどのように指導し、よりよいサークル作りに努力なさっているかをお集まりの皆さんに、それぞれのサークルの立場からお話をうかがいたいということとで座談会を催すことにしました。よろしくおねがいいたします。まず最初に皆さんのサークルの歴史、たとえば会を作ってから何年になるか、会員数、男性・女性の比率、週何回のレッスン、昼・夜のどちらか、そんなところからご説明願いたいのですが——神元さんからお願いいたします。

神元 会を作ってから七年になります。会員数は七〇名、男女の比率は女三、男一の割でしょうか、レッスンは火曜と土曜の二回で午後の七時から八時半まで新しい方を中心にして古くからいらっしゃる会員も含めてレッスンをしています。が、古くからいらっしゃる方のためには

八時半から八時五〇分までをレッスンの時間にしていきます。

本誌 一つの会場内で講習をするためにはよい方法ですね。新しい方を中心にしてキャリアのある方が手をとって踊らせてさしあげるといいことですね。

神元 そうです。とてもうまくいっています。

本誌 長井さんの方はいかがですか。

長井 うちの会は六年になります。会員は三四名、女一九、男一五というところ。毎週一回、夜の七時半から九時半までです。

本誌 稲葉さん、おねがいします。

稲葉 うちの会は七年になります。男性十二名、女性十八名の計三十名です。やはり週一回の午後七時半から九時半です。

本誌 井口さんの方はいかがですか。

井口 女性五十名、男性一〇名です。週三回のレッスンで仲間です。会がはじまってからまだ一年にもならないんですが、とにかくすばらしい会にしたいと思っています。

本誌 会を運営していくことは大変ご苦労の多いことと思いますが、神元さん、苦労話などが聞きたいのですが。

神元 創立当時は別に苦労もなかったよ。うな気もします。とにかく楽しくたよ。うに思います。でも、しばらくするうちに女性の方たちも技術が向上してきて、上手な男性と踊りたい気持ち先立つようになり、中には他の人もかえり見ないで上手な男性を独占してしまう人も出てきて踊りに未熟な女性が踊ることも出来ない。これでは困るので、パートナー

エンジを呼びかけますと一応チェンジはするのですが、少数の上手なカップル同士が入れ替るだけで多くの未熟な会員から不満の声がささやかれるようになり、結局はみなさんから浮き上ってしまったんだん皆さんから相手にされなくなるんですね。

本誌 長井さんのほうはどうですか。

長井 やはり同じですね、そのようなこともありましたけれど、現在では会長さんの指示によりまして一人の人と二曲以上は続けて踊らないようにしています。男性側も協力してくださって平均的にはさほど問題はないようなんですが中には男性のほうからみて踊りやすいといいますが、踊りたい人といいますが、それに背の低いなどもありまして、パートナーチェンジはするのですが、ごく限られた人と形ばかりのチェンジをしている方も何人かはいらっしやいます。そういう方には会長さんも極力ご注意はしているよ

うなんです。

本誌 そうですね、この種の悩みはどのサークルにもあるようですね。楽しいレッスンの場なものですから、男性は踊り易いとか踊りにくいとかでなく、ご自分のリードの勉強にもなることなのですから多くの女性と踊ることが望ましいですね。

稲葉 最初の頃はこれといって悩みはなかったのですけれど一年半ほど経った頃だったでしょうか、先生がご都合でおやめになるということになりました。困りました。ご結婚なさるといふことだったんです。それで仲間の中にダンスの指導が

出来る方が一人いらっしやったので少しの間お願いしていたのですが、その後おやめになった先生の先輩にあたられる方に指導に来て頂くことになりました。落着くことが出来たのですが、その間というものの、会長さんは大変ご苦労なさっていたようなんです。

夫婦でダンスを 楽しむ喜びは格別

本誌 皆さんのお話をうかがっていて、ほんとうに楽しいサークル作りには大変なご苦労があることがわかります。男性と女性があつてのダンスですので感情が入りこむこともあるでしょう。それを公平に皆さんが共に楽しいサークル活動をしていくむずかしさ、大変ですよ。で

ご出席の皆さん



八木幸子さん(副会長) (セゾンドールダンスサークル)
井口敬子さん(会長) (セゾンドールダンスサークル)
稲葉洋子さん(指導員) (藤中央ダンスクラブ)
長井麗子さん(指導員) (富士見ダンスクラブ)
神元久子さん(コーチ) (あさかレソシアルダンスサークル)

は今度はダンスをはじめてよかったですという利点を話して下さい。神元さん、おねがいします。

神元 ストレス解消でしょうか、それにその時間は家事から解放されていることと、健康面にしても精神面にしてもいいということでしょうね。それからサークルをやった感じは仲間がいるという連帯感ということでしょうか、いっしょにやっていると仲間が居るんだという、なにか、そういう幸せな気持ちでいられることでしょうか。

本誌 長井さんはいかがですか。

長井 右同じということですね。ただ私の場合、足も丈夫になりましたし、はじめのきっかけがね、娘が、年をとると足から老化していくから(笑)お母さんダンスをやんなさいといわれてもすぐにはその気にもなれないで躊躇していったんです。今の会長さんからお声もかかったんですが今更だんさんなんでしょうか、思っていたんですが、私、昔、ダンスをやっていたのでねダンスそのものは分かっていたんです。でも今更この年になって思っていましたらね、大学生だった娘からお母さん人間は足から老化してゆくのよ、ダンスをやると足が丈夫になるわよとハッパをかけられたような状態で、途中から入れていただいたんです。おかげで足も丈夫になり階段を上るにも息をつかずに上れるようになり、先程も神元さんとおっしゃったように友達もいっぱい出来たということなんです。それとすこしスリムになったということ、主人がすこくよろこんでいてくれます。(笑)六〇キロ

るなんて幸せです。これから先、十年、二十年と理想に向かって行きたいんです。荒波をうけるときもたくさんあると思います。そのたびに軌道修正をしなければならぬことも多いと思いますし、覚悟もしています。とにかく頑張つてよりよいサークルにしていきたいんです。

踊るのが待ち切れ ないダンス旅行

本誌 サークルの直接指導者ともなると苦勞はたくさんありますね。でも、その苦勞がよくなるようになっていくのでしょうか。いまのお話に関連するんですが、会員同士の和の方法をどのようにおとりになっているかと言ったことについて神



座談会出席の皆さん



サークルで大事なのは和と皆さんは言う

あったんですよ、稲葉さんもそれはご存知なんです。今は五〇キロになりました。昔のおもかげになったと(笑)

本誌 私もお話を連合会の福田理事長からお聞きしまして感動しました。ぜひ取材させていただきとお願ひしました。稲葉 わたくし達、市の公共施設を利用していただいている恩返しにもなることとですし、いま、富士見ダンスクラブの長井さんからお話がありました。が、わたしは障害者の方々に指導させていただいているんです。ほんとに楽しいんです。車椅子でルンバなど踊るんです。それがとてもお上手に。

本誌 では稲葉さんの場合をどうぞ。
稲葉 私は主人といっしょにダンスをはじめましたのでその共通の話題で夜の二時、三時になってもダンスの話となると終りがありません。きょうは、だれがこういう話をしたとか、先生がこう言ったとかで……。ですから、夫婦で共通の話題があること、二人で旅行にいつても踊れますし、それにお友達が沢山出来たこと、障害者の方達にもダンスを指導させていただいていいることなど楽しいことはいっぱいあるんです。

本誌 私もお話を連合会の福田理事長からお聞きしまして感動しました。ぜひ取材させていただきとお願ひしました。稲葉 わたくし達、市の公共施設を利用していただいている恩返しにもなることとですし、いま、富士見ダンスクラブの長井さんからお話がありました。が、わたしは障害者の方々に指導させていただいているんです。ほんとに楽しいんです。車椅子でルンバなど踊るんです。それがとてもお上手に。

元さんにお聞きしたいのですが。
神元 うちは年一回の募集なんですけれども、何故かといいますが、入会を随時にする、その人のために、またあらたに時間をさかなければなりません。それでは他の多くの会員の方々の時間の無駄になりますし、古い方を大事にしない行為にもなると思うんです。ですから古い方を大事にしなければ新しい方も大事に出来ない。そんなことで募集を年一回にしまして入会希望者に対してオリエンテーションを開くんです。会の練習方法からマナーに至るまで説明しまして、これでもよかったですから入会して下さいということにしているんです。分りましたという方々に入会していただくんです。一ヶ月、二ヶ月と皆さん、なれるまでたいへんなんですけれど、練習のときは私語はしない、自分の足で立つて絶対に相手に寄りかかたりしない、ということなど練習の都度、説明もしますし、納得してもらって入会の最初からこの会のあり方を浸透させていくようにつとめています。八十一歳になる男性のお年寄りもいるんですがちゃんと自立した踊りを楽しんでいられます。耐えれば出来るもんだということですね。七十代の方もゾロゾロおられますし、大半は四十代の方ですが、二十代の方も何人かおられます。ダンスは年齢には関係ないようですね。
本誌 富士見の長井さん、何か楽しいお話を聞かせて下さい。
長井 今年の二月に私も富士見ダンスクラブと稲葉さんのほうの中央ダンスク

ラブと合同で一泊ダンス旅行をしたんです。富士山が目に見える場所でした。ホテルに着いたのが午後の二時ごろでした。もう待ち切れない気持ちで……。皆さん早速フロアに出て踊りはじめました。夜もちょっとした宴会のあと踊りはじめると、次の日も朝から昼まで十分に踊りを楽しんでまいりました。窓から見える真白な富士山もすばらしく印象的でした。忍野温泉の鐘山苑という大きなホテルでした。設備も行き届いていますし、ホテルの皆さんも親切に気を配ってくださいました。
本誌 それはよかったですね。本誌としても一号、二号とダンスのある旅のページ作りをしてきたんですが、三号目の取材先をそのホテルにしてみましようか。どんな所か興味もありますしね。(くわしいことは本号掲載の「ダンスのある旅」を参照して下さい)今日は楽しい話でしめくりたいと思います。まだまだ書き足りないほど皆さん、ご意見やら夢やら沢山あると思うのですが誌面の都合もあり残念ですがこの辺で終わらせていただきます。あさかソシアルダンスの神元さん、小さなお子さんを二人も連れてのご出席ありがとうございました。今日はほんとうに暮れのお忙がしい時間をさいて下さいましてありがとうございます。みなさんのサークルが今後さらによりよいサークルに発展されるよう願って終りにしたいと思います。ほんとうにありがとうございました。

ダンス教育ビデオ 全19巻 世界ダンスビデオのトップメーカー UFO プロダクション (株)

東京事務所：〒160 新宿区新宿 4-3-15、レイフラット新宿 707
世界中のダンスビデオ41巻販売中/ダンスビデオの利用選択カード表あり
お問合せは 03-350-0004

★超特報★ '85 インターナショナル ダンス 選手権 (10月17日 ロンドンのロイヤル アルバート・ホールで開催) を UFOプロがTVカメラ6台で独占撮影に成功!!
12月24日 世界同時発売/ (モダン、ラテン&アマ、プロ決勝戦等 60分 ¥16,000)・別巻「ラテン・ファンタジー」

資料 進呈

をまわすように強く押してさしあげますと車椅子ごと曲に合わせた速さで回転するんです。
本誌 そうですか、いやア素晴らしいですね。ところで井口さん、なにか楽しいお話を。
井口 私ね、五年半ぐらい前になるんですが、生きるか死ぬかの手術をしたんです。でも、それも回復しまして病院の先生から、あまり、じっとしていてもいけない。何か運動をして体力をつけたいらどうですかと言われましてダンスサークルに入会しました。体力作りには十分に役立つこともわかりましたし、自分なりの理想もありまして、お世話になっていた会も去りまして、さいわい主人も気持ちのうえでは協力してくれましたので、お友達の八木さんにも協力いただきましてセゾンドールというサークルを作りました。もしかしたら死んでしまったか分らない私の人生の余生を社会に還元しよう健康的にも精神的にも、これから先、老後というものを抱えていますから、みんなの手を取り合って素的な人生を送りましょうということ、私の余生をセゾンに捧げましたという気持ちでやっています。みなさんも今は非常によろこんで下さっているんですよ。一人も壁の花にならないよう、そして皆さんが同じレベルになっていただくように一生懸命やっています。遅れていた方が出来るようになったときはお互いに手を取り合って、よかったですねと、ほんとうに泣きたいほどうれしいときもあります。こんな楽しみを味わえ



英国留学二年半という本格派の主婦が呼びかけて結成されたサークル。
ダンスは基本が大切。正しいダンスの修得をめざし活動。

一年を三期に分けてステップの構習

原稿の都合もあって、新年も明けの一月三日、はやばやの取材訪問で恐れいりながら神元さん宅をおじゃますることになった。

この神元さん夫婦は三十代半ばという仲良しダンスカップル。お二人がめぐり合ったところがなんと英国のロンドンというから、むかし、むかし浅草で初恋を感じた筆者とはロマンスの程度が段違い。夫君の誠さんは大学在学中に語学の勉強にアメリカからロンドンへ、奥さんの久子さんは桜蔭女子高から東京教育大（現・国立筑波大）に進み、女子剣道部であつて三段の腕前。

桜蔭在学中に先輩達のダンスクラブでの華麗なるステップを見たのが脳裏から消えず、エイ！ ヤア！ と正面に切り込んだ先が英国のロンドン。

あれや、これやのバイトをしながらの教室通いが二年半、毎日レッスンをうけるわけにもゆかず週一回、バイトの収入もふえてきてから週三回のレッスンを受

けられるようになった。教室で指導にあつてくれた先生が英国の元ラテン部門のチャンピオン、レオナルド・パトリックというお偉いさん（一九五四年度の英国ラテン部門チャンピオン）

当時のお話をうかがつたほうがよほど興味があるのだが、当日はサークルの資料拝見ということでの訪問だったので、後日の機会を待つことにした。

つぎつぎに出される資料はかなりの種類におよんだ。

サークルの機関誌、会員の文集、受講者の出席カード、このカードは初級I、中級Iという毎に四ヶ月間使用されるもので、出席のたびに出席印が押され二つに折られたんだ片面には、目標・反省・先生から一言という記入欄がある。

次に出された一冊の本、あさかしソシアルダンスサークル編という手づくりのものなのだが、神元さんが英国から持ち帰つた本の中にアレックス・ムーア氏の書かれた「ボールルーム・ダンシング」というのがあつて、この本は英国でのダンスを学ぶ人達の必読書とされているもの、日本語版がないことから神元さんが中心

そんなことのないように、まずしっかりとした基礎を身につけなければならぬです。

リードもフォローも不完全なままで足型を知つたからといって先へ先へとウェアリエーションだけを追いかけても、いつまでたつてもきれいな踊りは出来ません。その意欲はよいのですが、うちの会で、クセのない、正しい基礎練習をしっかりとしてもらつて、それから更に技術を求める方が教室なりサークルなりでより以上のものを追つてもらいたいのです。

コーチの神元誠さんの熱弁はつきることもなく続く。このコーチ役の夫君をさらにコーチしているのが奥さんの久子さんである。まさにさわやかダンス夫婦。

久子さんは二年半のロンドン生活から帰国してまもなくダンス教師試験にパス、一年半ばかりダンス教室の教師を勤めたが、普通の奥さんになりたくて、いまは女の子二人を育てながらの主婦専業。週二回のサークルの講習日には二児を連れて会場に赴きコーチをするほかに、週一回はダンス教室に通つてプロA級の先生にレッスンをうけに行く。この教室通いにも二児を連れて行くのだから、まったく感心のはかはない。

夫君もペラペラの英語を生かして外資系の会社に勤めている。市の中央公民館での本年はじめての講習が七日午後7時30分にスタートした。この日に集まつて来た講習生は50人を超えていたが、おめでとつございます。



今年もよろしく、という挨拶がこちらで交わされていた。年頭の挨拶のあと手備運動に入った。約20分の間、手をあげたり足を伸ばしたり、大きな輪になって場内を駆けまわつたり、神元さんの二人のお嬢ちゃんも仲間に入つてのオイチ、ニという光景である。

ワルツ、タンゴ、ルンバ、ジルバというようにレッスンは続いたのだが、この日は今年の初顔合せということでダンス・タイムを多く取り入れて講習生の和に重点が置かれていた。

この、あさかしソシアルダンスサークルは朝霞市内在住の人達のみが年一回の募集時にオリエンテーションをうけて入会するシステムをとつており、随時入会や市外から入会出来ないのは残念であるが、プログラムからしても致し方ないところであろう。（取材/野口信二）

サークル会員が一年がかりでアレックス・ムーアの本を翻訳！



あさかしダンスサークルの皆さん

それをあえて買って出た人が会長立候補者になると記されてあつた。

会長の職務としてはコーチが、よりよいレッスンが出来るように講習会員を規律よく明るくさわやかにまとめていくための、ひたすら内助の功的職務に当たるのである。

この会長の下で七十才、八十才の方々も含めて四十代の人たちが講習をうけているのである。

この会のプログラムは一年間を三期に分けて初級I、初級II、中級Iと各四ヶ月間、週二回講習で正しい基礎技術をしっかりとして修得してもらつたというのである。「何事もそうだと思いますが、ダンスは特にはじめが大切です。いい加減な練習で個人に悪いクセがついてしまつたら取りかえすのにたいへんです。